科目名	エアラインサービスマナーⅡB				
科目名(英)	Airline Service MannerⅡB				
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	森永/平田
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	国内航空会社国際線客室乗務員 /国内航空会社国際線グランドスタッフ
対象学科・学年	エアライン科2年				
授業概要	航空業界の現状を把握した上で、より現場を意識したコミュニケーション、言葉遣い、対応力を習得し、即戦力として活躍できる人材を目指す。また、接客マナースキルコンテストの開催に向け、各自が主体となって運営を行うことを意識し、コンテストを通して自主性を身に付ける。現場で必要とされる質の高いサービスを提供できるよう、エアライン科での学びの集大成として知識の定着を図り、実践力を身に付けていく。				
授業形式	講義:　△	演習:　○	実習:	実技:	※　主たる方法:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
		○			接遇基本動作に加え、適切な対応方法や接客時に用いる敬語や言い回しを判断し、実際にお客様と会話することができる。
		○			航空業界の現状をしっかりと把握し、それぞれの状況に応じた実践的な対応をすることができる。
○	○	○			接客マナースキルコンテストで習得した基本動作に加え、お客様の状況を察したきめ細やかな対応をすることができる。

テキスト・教材 参考図書

接客マナースキルコンテスト（プリント使用）

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	接客マナースキルコンテスト　事例について	事例をしっかりと把握し、言葉の使い方、必要事項の説明等対応ができるように何度もシュミレーションをしておくこと
2	接客マナースキルコンテスト　事例について	事例をしっかりと把握し、言葉の使い方、必要事項の説明等対応ができるように何度もシュミレーションをしておくこと
3	接客マナースキルコンテスト　事例について	事例をしっかりと把握し、言葉の使い方、必要事項の説明等対応ができるように何度もシュミレーションをしておくこと
4	接客マナースキルコンテスト　事例について	事例をしっかりと把握し、言葉の使い方、必要事項の説明等対応ができるように何度もシュミレーションをしておくこと
5	接客マナースキルコンテスト　事例について	事例をしっかりと把握し、言葉の使い方、必要事項の説明等対応ができるように何度もシュミレーションをしておくこと
6	事例のテスト（ロールプレイングテスト）	事例をしっかりと把握し、言葉の使い方、必要事項の説明等対応ができるように何度もシュミレーションをしておくこと
7	接客マナースキルコンテスト	事例をしっかりと把握し、言葉の使い方、必要事項の説明等対応ができるように何度もシュミレーションをしておくこと
8	接客マナースキルコンテスト	事例をしっかりと把握し、言葉の使い方、必要事項の説明等対応ができるように何度もシュミレーションをしておくこと
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法

(1)授業の中で実技試験を実施する。
以上を下記の観点・割合で評価する。
成績評価基準は、S（90点以上）・A（80点以上）・B（70点以上）・C（60点以上）・D（59点以下）とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
実技テスト	○	○	○			100%

履修上の注意

科目名	ビジネス実務				
科目名(英)					
単位数	2	時間数	30	担当者	未定
実施年度	2022	実施時期	後期	担当者実務経験	
対象学科・学年	エアライン科2年				
授業概要	就業を目前に、現場に適応した具体的かつ上級のマナーとビジネス知識を習得する。				
授業形式	講義:　△	演習:　○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
○	○		○		社会に適応したマナーを身に付け実践することができる。
○	○		○		漢字の読み書きができるようになる。
○	○		○		接客に使う敬語を使えるようになる。

テキスト・教材 参考図書

プリント

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	話し方　好印象の話し方 働くということ（労働者の権利と義務，離職の際に必要なこと）	
2	新生活に向けて　お金の知識（給与の仕組みと税金の知識）	
3	敬語　　敬語上級編	
4	クレーム処理　難しいお客様対応，クレームの基本対応	
5	電話応対①　電話応対　実践編	
6	電話応対②　電話応対　実践編　伝言メモ	
7	指示の受け方と対人コミュニケーション	
8	職場の人間関係	
9	報告・連絡・相談①	
10	報告・連絡・相談②	
11	ビジネス文書①　業務日報・報告書・メール・FAXの書き方	
12	ビジネス文書②　社外・社交文書の書き方，郵便・配送の知識	
13	冠婚葬祭のマナー	
14	社交マナー　個人宅訪問のマナー，お付き合いのマナー	
15	キャリアプラン	

評価方法

(1)定期末試験（筆記）を実施する。
(2)課題を数回実施する。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験	○	○				60%
出席率、提出物状況		○		○	○	40%

履修上の注意

科目名	接客手話B				
科目名(英)					
単位数	2	時間数	30	担当者	平嶋光希
実施年度	2022	実施時期	後期	担当者実務経験	
対象学科・学年	エアライン科2年生				
授業概要	手話入門　後期 前期(視覚的にものをとらえる工夫や様々な手段を使って、聴覚障がい者に伝え合う事を学ぶ 手話の基本を身に着ける)を更に　豊かに学ぶ。手話検定4級の内容を習得　簡単な接客手話を学ぶ				
授業形式	講義:　△	演習:	実習:	実技:　○	※　主たる方法:○　その他:△

学習目標(到達目標)

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
○					聴覚障がいの基礎知識
○					聴覚障がい者の生活
	○				手話入門
	○				接客手話

テキスト・教材 参考図書

手話技能検定(4級)

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	前期の復習　4-5都道府県　4－6動詞	
2	動詞を使って表現しましょう	
3	地名を使って表現しましょう	
4	4－1人間・食べ物・動物	
5	例文4－1	
6	4－2生活・スポーツ・感情・趣味・乗り物	
7	例文4－2	
8	4－3形容詞・副詞	
9	例文4－3	
10	4－4社会・施設	
11	例文4－4	
12	復習　①～③　　小テスト読取	
13	復習　④～⑥　　小テスト読取	
14	手話技能検定4級	
15	実技テスト(接客)	

評価方法

(1)授業の中で小テストを実施する。(筆記・実技)　(2)レポートを数回実施する。
以上を下記の観点・割合で評価する。
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
小テスト(筆記)	◎	○				30%
小テスト(実技)		◎				60%
レポート				◎		10%

履修上の注意

出席が10回に満たない場合は、単位を与えない。

科目名	英語検定(TOEIC)対策ⅡB				
科目名(英)	EIKEN Test /TOEIC Test Strategies　ⅡB				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	和田　菜穂/野々村　賢一
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	
対象学科・学年	エアライン科2年				
授業概要	国際国際化が進む社会の専門性として、日常英会話にとどまらず、より専門的な分野で通用する高いレベルの情報処理能力を念頭に業務を行うことが求められている。限られた時間の中で正確、かつ迅速に対応し、社会で必要とされる英語力に見合った力をつけることが重要である。この授業では、英語運用能力を測る代表的な資格であるAレベル・TOEIC860点以上のスコア取得を目指し、問題演習を通して英語の4技能を伸ばしていく。				
授業形式	講義:　△	演習:　○	実習:	実技:	※　主たる方法:○　その他:△

学習目標(到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				社会性のある内容の文章を理解することができる。(読む) ・International Herald Tribune」、「Financial Times」等一般的な国際英字新聞の記事を読んで、大まかに理解できる。 ・会議の議事項目(アジェンダ)を読んで理解できる。
	○	○				社会性のある内容を聞いて理解することができる。(聞く) ・ラジオのニュース番組で、最初にアナウンサーが言う主なニュース項目を理解できる。 ・自分の専門分野での発表やプレゼンテーションを聞いて理解できる。
	○	○				社会性のある話題について書くことができる。(書く) ・今後取引先となりそうな相手に対して、自社製品を紹介・売込みのためのEメールやレターを書くことができる。 ・FAX、E-mailでホテルの予約ができる。

テキスト・教材 参考図書	TOEIC　L＆Rテスト至極の模試、他実践問題集、TOEIC　S＆Wテキスト、WordPower4500、Listening Box for TOEIC他

授業計画	回数	授業項目・内容	授業外学修指示
	1	導入、夏休み明け復習テスト、解答＆解説	
	2	TOEIC対策　Part5、Part6強化問題、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	3	TOEIC対策　Part5、Part6強化問題、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	4	TOEIC対策　Part5、Part6強化問題、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	5	TOEIC対策　Part5、Part6強化問題、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	6	TOEIC対策　Part5、Part6強化問題、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	7	TOEIC対策　Part5、Part6強化問題、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	8	TOEIC対策　Part5、Part6強化問題、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	9	TOEIC対策　Part5、Part6強化問題、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	10	TOEIC対策　Part5、Part6強化問題、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	11	TOEIC対策　Part5、Part6強化問題、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	12	TOEIC対策　Part5、Part6強化問題、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	13	TOEIC対策　Part5、Part6強化問題、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	14	TOEIC対策　Part5、Part6強化問題、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	15	中間テスト、解答＆解説	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	16	TOEIC対策　Multiple Passege攻略、実践模試、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	17	TOEIC対策　Multiple Passege攻略、実践模試、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	18	TOEIC対策　Multiple Passege攻略、実践模試、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	19	TOEIC対策　Multiple Passege攻略、実践模試、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	20	TOEIC対策　Multiple Passege攻略、実践模試、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	21	TOEIC対策　Multiple Passege攻略、実践模試、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	22	TOEIC対策　Multiple Passege攻略、実践模試、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。

	23	TOEIC対策　Multiple Passege攻略、実践模試、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	24	Business Writing、語彙強化、Dictation	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	25	Business Writing、語彙強化、Dictation	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	26	Business Writing、語彙強化、Dictation	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	27	Business Writing、語彙強化、Dictation	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	28	Business Writing、語彙強化、Dictation	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	29	Business Writing、語彙強化、Dictation	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	30	定期試験対策　学期総括	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。

評価方法

(1)定期試験（筆記）を実施する。
(2)TOEICを学期末に実施する。（12月）
評価方法は800点取得で100%、730点取得で95%、700点取得で90%とし以下も取得点数により評価に反映する。
(3)単語テストを複数回実施し、評価とする。

以上を下記の観点・割合で評価する。
成績評価基準は、S（90点以上）・A（80点以上）・B（70点以上）・C（60点以上）・D（59点以下）とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験	◎	○				60%
TOEIC	◎	○				30%
課題提出	◎	○				10%

履修上の注意

出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。

科目名	英語検定(2級)対策ⅡB				
科目名(英)	EIKEN Test/TOEIC Test Strategies　ⅡB				
単位数	4単位	kor	60時間	担当者	石田　小雪
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	語学教育企業にて数か国のネイティブと勤務
対象学科・学年	エアライン科2年				
授業概要	これまで身につけてきた英語の基礎力を様々な分野で応用できるようにするためには、日頃から幅広い内容の英語に多く触れ、それらを理解していく必要がある。この授業では、学校や仕事、趣味といった身近なものから文化や歴史、環境問題など多岐にわたるテーマに沿って学び、社会生活に必要な英語を使えるようになることを目指す。				
授業形式	講義:　△	演習:　○	実習:	実技:	※　主たる方法:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
○	○				説明、評論、物語、随筆などについて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(読む)
○	○				会性のある話題について自分の意見を簡潔にまとめて、100文字程度の英文を書くことができる。(書く)
○	○				事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(聞く)

テキスト・教材 参考図書: 英検過去問題集

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	オリエンテーション、ディクテーション、音読、英検リーディング(短文の語句空所補充)	
2	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
3	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
4	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
5	英検ライティング、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
6	英検模擬試験　問題1　筆記	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
7	英検模擬試験　問題1　リスニング　解答＆解説	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
8	英検本試験解説　大問1	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
9	英検本試験解説　大問2	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
10	英検本試験解説　大問3	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
11	英検本試験解説　モデルライティング練習	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
12	英検2級本試験結果分析フィードバック、ライティング10問、英検2級攻略法	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
13	英検リーディング短文の語句空所補充)、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
14	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
15	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
16	英検ライティング、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
17	英検二次対策　スピーキング／英検筆記対策(過去問題)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
18	英検二次対策　スピーキング／英検筆記対策(過去問題)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
19	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
20	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
21	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
22	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
23	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
24	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
25	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
26	英検ライティング、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
27	英検模擬試験　問題2　筆記	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと

	28	英検模擬試験　問題2　リスニング　解答＆解説	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	29	英検模擬試験　問題2　解説	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	30	後期まとめおよび期末試験対策	前回までの復習を行って授業に臨むこと

評価方法

(1)定期試験(筆記)を実施する。
(2)小テストを実施する。
以上を下記の観点・割合で評価する。
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験	◎	○				60%
小テスト	◎	○				40%

履修上の注意　出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。

科目名	英語検定（準2級）対策ⅡB				
科目名（英）	EIKEN Test / TOEIC Test Strategies IIB				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	村上　正雄
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	外資系翻訳会社にて勤務
対象学科・学年	エアライン科2年				
授業概要	国際化および情報化社会において、英語による情報や考えを理解し要点をとらえることや、英語で発信することは大変重要である。 この授業では、社会で必要とされる実践的英語力の養成と実用英語技能検定準2級合格、またTOEICスコア100点アップを目指す。				
授業形式	講義：　△	演習：　○	実習：	実技：	※　主たる方法：○　その他：△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
○	○				説明、評論、物語、随筆などについて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。（読む）
○	○				社会性のある話題について自分の意見を簡潔にまとめて、60語程度の英文を書くことができる。（書く）
○	○				対面での会話や電話での会話などを聞いて，情報や考えなどを理解したり，概要や要点をとらえることができる。（聞く）
○	○				与えられた話題について即興で話したり、聞き手や目的に応じて簡潔に話すことができる。
					また、短い文章を読んで、情報や考えなどを理解し，概要や要点をとらえることができる。（話す）

テキスト・教材 参考図書：英語検定準2級過去問、TOEIC公式問題集

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	オリエンテーション、大問1,2（語彙、短文の語句空所補充）、リスニング	
2	英検対策　大問1,2（語彙、短文の語句空所補充）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
3	英検対策　大問1,2（語彙、短文の語句空所補充）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
4	英検対策　大問3（長文の語句空所補充）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
5	英検対策　大問3（長文の語句空所補充）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
6	英検対策　大問3（長文の語句空所補充）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
7	英検対策　大問4（長文）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
8	英検対策　大問4（長文）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
9	英検対策　大問4（長文）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
10	英検対策　大問5（ライティング）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
11	英検対策　大問5（ライティング）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
12	英検模擬試験　問題1　筆記	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
13	英検模擬試験　問題1　リスニング　解答＆解説	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
14	英検本試験解説　大問1	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
15	英検本試験解説　大問2	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
16	英検本試験解説　大問2	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
17	英検本試験解説　大問3	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
18	英検本試験解説　モデルライティング練習	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
19	TOEICテスト概要説明　TOEIC Part5	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
20	英検対策　大問1,2（語彙、短文の語句空所補充）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
21	英検対策　大問1,2（語彙、短文の語句空所補充）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
22	英検対策　大問3（長文の語句空所補充）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
23	英検対策　大問3（長文の語句空所補充）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
24	英検対策　大問4（長文）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
25	英検対策　大問4（長文）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと

	26	英検対策　大問5（ライティング）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	27	英検対策　大問5（ライティング）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	28	英検対策　大問5（ライティング）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	29	英検対策　大問5（ライティング）、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	30	期末テスト前復習	前回の復習を行って授業に臨むこと

評価方法

(1) 学内で英検を実施する。英検準2級完全合格を85点、1次合格を80点、1次不合格のバンド-1は75点、バンド-2は73点、バンド-3は70点、バンド-4は68点、バンド-5は65点、バンド-6は63点、バンド-7以下は60点とする。
(2) 定期試験（筆記）を実施する。
(3) 小テストを実施する。
以上を下記の観点・割合で評価する。
成績評価基準は、S（90点以上）・A（80点以上）・B（70点以上）・C（60点以上）・D（59点以下）とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験	◎	○				60%
小テスト	◎	○				40%

履修上の注意

出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。

科目名	Airline English Ⅱ B				
科目名(英)	Airline English Ⅱ B				
単位数	2	時間数	30	担当者	未定
実施年度	2022	実施時期	後期	担当者実務経験	
対象学科・学年	Airline 1				
授業概要	1. Raise students' English proficiency 2. Give students more confidence in using English 3. Workplace related English skills				
授業形式	講義:　△	演習:　○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
○					Raise students' English proficiency
○					Give students more confidence in using English
○					Workplace related English skills

テキスト・教材 参考図書

Speakout Elementary Book1

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	Introductions / Summer Vacation	none
2	9.3 Sorry I'm Late	Preview lesson materials and review previous lesson
3	9.4 Teacher's Lesson or Airport	Preview lesson materials and review previous lesson
4	9.5 Review	Preview lesson materials and review previous lesson
5	10.1 Life's a Lottery	Preview lesson materials and review previous lesson
6	10.2 Survive!①	Preview lesson materials and review previous lesson
7	10.2 Survive!②	Preview lesson materials and review previous lesson
8	Teacher's lesson or 10.4 Wild Weather	Preview lesson materials and review previous lesson
9	10.5 Lookback	Preview lesson materials and review previous lesson
10	11.1 I don't feel well	Preview lesson materials and review previous lesson
11	11.2 One thing at a time	Preview lesson materials and review previous lesson
12	11.3 Help!	Preview lesson materials and review previous lesson
13	Teacher's less or 11.4 Fat or sugar	Preview lesson materials and review previous lesson
14	Review and Practice for Speaking Test	Preview lesson materials and review previous lesson
15	Speaking Test	Review previous lesson material

評価方法

Students evaluation: (1) Test – 50% (2) Class participation – 25% (3) Attendance – 25 %
The scoring scheme is: S (90 and above); A (80^89); B (70~79); C (60~69); D (59 and below)

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験 Semester End Exam	○	○		○		50%
小テスト In-class Tasks	○	○		○		50%

履修上の注意

科目名	韓国語ⅡB				
科目名(英)					
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	盧　愛蓮
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	
対象学科・学年	エアライン科2年				
授業概要	韓国の言葉、読み書き習得を中心に就職活動に役立つよう実力を身につけさせると共に、最も近い隣国である韓国への理解や文化の違いなどを盛込み、国際人としての見識も備わるよう指導する。				
授業形式	講義:　△	演習:　○	実習:	実技:	※　主たる方法:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
○	○				日常会話だけでなく、就職においても役立つ語学力を習得し実践できる。
○	○				簡単な日常会話を話せるようになる。

テキスト・教材 参考図書: 基礎から学ぶ韓国語

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	前期学習分　総おさらい　その1	
2	前期学習分　総おさらい　その2　　9課へ	
3	9課　漢数詞	
4	10課　固有数詞	
5	漢数詞、固有数詞のまとめ	
6	11課　尊敬形の学習	
7	12課　～行きません否定形	
8	13課　過去形	
9	中間まとめ　　否定形、過去形	
10	14課　勧誘の表現	
11	気候、自然についての単語　　15課　現在進行形	
12	16課　可能、不可能の表現	
13	16課　続き　　身体の名称等	
14	17課　　～がしたいの表現	
15	18課　　～してもよいですかの表現	

評価方法

1. 授業中に小テストを回実施する。 2. 実力に（抜きん出ている生徒等は授業の他に検定試験に向けての指導をする。過去問題等を解かせたり、先に進めて別テストを行う 3. 授業中に小テストを期末テストと合わせ、平常点として加算する。 4. 成績評価 S（90点以上） A（80点以上） B(70点以上） C（60点以上）D（50点以下）

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験	◎	○				50%
小テストや授業態度	◎	○	○	○		50%

履修上の注意

科目名	中国語ⅡB				
科目名(英)					
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	王　波
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	
対象学科・学年	エアライン科2年				
授業概要	簡単な例文を朗読で大量に学ぶことで、無理なく楽しく文法を再確認しながら、活用できる表現の幅を広げていく。 単語、フレーズ、文章、伝達しようとする内容が中国語で自然に口をついて出てくるようになることを目標とする。				
授業形式	講義:　△	演習:　○	実習:	実技:	※　主たる方法:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
○	○				中国語の語彙を増やし、文法を理解し実践できるようになる。
○	○	○			簡単な日常会話ができる。
○	○	○			仕事の場面で使う様々な表現を覚えて、実践することができる。

テキスト・教材 参考図書

中国語ははじめての一歩

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	動詞のおさらいと形容詞を述語とする文　比較文など	
2	形容詞の単語をマスターして、会話をする	
3	練習プリントをする、それに基づいて自分のことを表現してみる	
4	第5課　日付　時刻を表す表現　　疑問詞	
5	前時振返り　一日流れの単語を中国語で言ってみよう	
6	練習プリントをする、それに基づいて自分のことを表現してみる	
7	中国語で私の一日を発表すると質問タイム	
8	小テスト　　第6課文法ポイントをまとめる	
9	前j回の復習　助動詞を使う表現	
10	単語で文を作って会話、本文の解釈と朗読	
11	練習プリントをする、それに基づいて自分のことを表現してみる	
12	小テスト　　中国語で感想を言ってみる	
13	第5課と第6課を復習　プリント	
14	口頭試験	
15	学科総括	

評価方法

(1)口頭試験を実施する。 (2)定期試験（筆記）を実施する。
以上を下記の観点・割合で評価する。
成績評価基準は、S（90点以上）・A（80点以上）・B（70点以上）・C（60点以上）・D（59点以下）とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験（口頭・筆記）	○	○	○			100%

履修上の注意

科目名	一般教養ⅡB				
科目名(英)					
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	市原　美智子
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	
対象学科・学年	エアライン科2年				
授業概要	社会人基礎力養成として、2年間の一般教養の授業の総まとめとして実施				
授業形式	講義:　○	演習:	実習:	実技:	※　主たる方法:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
○					主な国際機関について、その活動内容を理解し説明することができる
○					漢字検定2級程度の漢字の読み書きができる
○					英検準2級程度の問題に解答することができる
○					四則演算と基礎的なSPI問d内に正確に解答することができる

テキスト・教材 参考図書: オリジナルテキスト

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	科目概要・シラバス説明、第1回(国際機関とその活動、世界遺産)	テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)
2	第2回　英文空所補充、英・日ことわざ	テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)
3	第3回　英文空所補充、SPI問題	テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)
4	第4回　漢字の知識、名数、歴史	テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)
5	第４回　英文空所補充、SPI問題	テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)
6	第5回　漢字の知識、読解問題、経済	テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)
7	第6回　漢字の知識、SPI問題、英文和訳	テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)
8	試験	
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法

(1)定期試験　(2)出席状況を意欲点として評価　(3)宿題・レポート
以上を、以下の観点・割合で評価委する。成績評価基準は、S (90点以上)、A (80点以上)、B (70点以上)、C (60点以上)、D (59点以下)とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験(筆記)	○					80%
出席状況				○		10%
宿題・レポート(原稿用紙2枚以上/1回)	◎			○		10%

履修上の注意

科目名	Excel演習				
科目名(英)					
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	山田　智子
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	
対象学科・学年	エアライン科2年				
授業概要	企業で最も使われているソフトの1つであるExcelの操作方法を習得する。Excelは統合型表計算のソフトウェアといわれ、表計算・グラフ作成・データベース機能を持っている。テキスト「30時間でマスターExcel2016」を使ってそれらの機能機能を学習する。テキストの内容対して授業時間数が短いので、教科書に載っている一部の機能は割愛する。最終的にExcel2016表計算処理技能認定試験3級の合格を目指す。				
授業形式	講義:	演習:	実習:	実技:	※　主たる方法:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○				Excelで表作成ができ・印刷について正しく操作できる。
	○				Excelでグラフの作成と編集ができる。
	○				Excelでデータベース処理（並べ替えや抽出）ができる。
○					Excelで使われる正しい用語の説明ができる。
○	○		○		IFやVLOOKUP等の応用のページに記載されている関数を習得する。
	○		○		Excel2016表計算処理技能認定試験3級に合格することができる

テキスト・教材 参考図書

30時間でマスター Excel2016

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	Excelの概要、データの種類と入力方法	
2	簡単な表の作成、データのコピー、練習問題	テキスト記載の実習問題1～4の表作成を完成させる(1.5時間)
3	基本のグラフ作成、練習問題	テキスト記載の実習問題1～4のグラフ作成と5～6の表作成を完成させる。(1.5時間)
4	表の編集（表の構成・書式設定・罫線）	テキスト記載の実習問題7～10を完成させる(1.5時間)
5	セルの書式設定・絶対参照を使う計算	テキスト記載の実習問題11～12を完成させる(1.5時間)
6	関数（Σから選べる関数）・COUNTA関数・セルの保護	テキスト記載の実習問題13～16を完成させる(1.5時間)
7	端数処理の関数、IF関数、条件付き書式、スパークライン	テキスト記載の実習問題17～20を完成させる(1.5時間)
8	第8章Excelの応用に記載の関数の一部・練習問題	テキスト記載の実習問題37～40を完成させる(1.5時間)
9	グラフ作成（棒・折れ線・円）	テキスト記載の実習問題21～26を完成させる(1.5時間)
10	グラフ（3Dグラフ、複合グラフ）	テキスト記載の実習問題27～29を完成させる(1.5時間)
11	グラフ(ドーナツ、レーダー、散布図、絵グラフ) データベース(オートコンプリート、ふりがな機能)	テキスト記載の実習問題30～32を完成させる(1.5時間)
12	データベース（並べ替え・フィルタ）	
13	印刷の設定、練習問題	
14	練習問題	
15	期末試験実技	

評価方法

(1)テキスト「30時間でマスター Excel2016」内の実習問題を8割以上仕上げる。（毎月末、最終授業終了時にメモリ提出）
(2)実技問題を期末試験とする。
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
期末試験実技	○	◎	○			50%
(2)課題提出		◎	○	◎		50%

履修上の注意

5回以上の授業出席者は評価対象となるため、早期出社等で6回目以降の授業に出ない学生は、最終出席日にメモリを提出すること。
出席が10回に満たない場合は、評価はDとする。

科目名	プレゼンテーション演習				
科目名(英)	Presentation				
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	山田　智子
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	
対象学科・学年	エアライン科2年				
授業概要	プレゼンテーションソフトであるPowerPointの操作方法を学習する。スライドの作成では、1年次に学んだWordの機能や後期に並行して学んでいるExcelの機能が利用できる部分が多いが、PowerPoint特有の機能もあるので、正しい操作方法を習得するようにする。別日に設けられている授業で作成している卒業論文をスライド化し発表する。 プレゼンテーションとは実際の発表を含めて総合的なスキルが必要なので、立ち居振る舞い・発声・表情に至るまで入念なリハーサルを行う。最終の2回の授業中に卒業論文のプレゼンテーション発表会を行う。				
授業形式	講義:　△	演習:　○	実習:	実技:	※　主たる方法:○　その他:△

学習目標(到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
		○				文字データを中心としたスライドを作成することができる。
		○				グラフや表、スマートアートなどのオブジェクト類をスライドに挿入することができる。
		○				アニメーション機能を効果的に使うことができる。
		○				複雑な画像の加工や動画の挿入と編集ができる。
	○	○		○		独自のプレゼンテーションを作成し、相手に伝わるように発表するすることができる。

テキスト・教材 参考図書	なし

授業計画	回数	授業項目・内容	授業外学修指示
	1	Power Pointの基礎知識、基本的なﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝの作成	
	2	表の作成、グラフの作成	
	3	図形の作成、Smart Artグラフィックの作成	
	4	図・クリップアート・ワードアートの挿入	
	5	アニメーションの設定、画面の切り替え	
	6	練習問題(提出課題作成)	
	7	画像の加工	
	8	マルチメディアの活用	
	9	卒論プレゼンテーション作成_プレゼンテーション作成のポイント	
	10	卒論プレゼンテーション作成_発表に使える機能・データ収集	
	11	卒論プレゼンテーション作成_データ収集・作成	
	12	卒論プレゼンテーション作成	
	13	卒論プレゼンテーション作成_仕上げ	
	14	卒業論文をプレゼンテーション発表①	
	15	卒業論文をプレゼンテーション発表②	

評価方法

後期前半ではスライドの作り方を学習するので、その成果として練習問題を完成させデータで提出する。
後期後半では卒業論文をPowerPointでプレゼンテーションデータとして作成し発表するので、
発表内容をデータと実際の発表で評価する。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
課題(練習問題)作成		◎		◎		50%
プレゼンテーション作成・発表	○	◎		◎		50%

履修上の注意	5回以上の授業出席者は評価対象となるため、早期出社等で6回目以降の授業に出ない学生は、最終出席日にメモリを提出すること。 卒業論文の授業が別に設けられているので、早いうちにテーマと流れを決め文章作成と並行してプレゼンテーションを作成できるようにする。 出席が10回に満たない場合は、評価はDとする。

科目名	茶道				
科目名(英)					
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	古田　時枝
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	客室乗務員として勤務
対象学科・学年	エアライン科2年				
授業概要	茶道を学ぶことで、日本人としての感性と所作を身に付け、社会人として基本的な作法を実践できるようになる。				
授業形式	講義:　△	演習:　○	実習:	実技:	※　主たる方法:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
			○	○	日本人としての感性を磨き、テストにて実践することができる。
	○	○	○	○	社会人としてのマナー、所作を身に付け実践できる。
	○	○	○	○	茶道の基本的な作法を理解し、説明することができる。

テキスト・教材 参考図書

プリント

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	オリエンテーション:和室での基本動作	授業で学んだことを復習する(0.5時間)
2	席入り　茶菓の頂き方　割り稽古　袱紗	授業で学んだことを復習する(0.5時間)
3	席入り　割り稽古　袱紗　茶巾	授業で学んだことを復習する(0.5時間)
4	席入り　割り稽古　袱紗　茶巾　盆略点前(1)	授業で学んだことを復習する(0.5時間)
5	席入り　割り稽古　袱紗　茶巾　盆略点前(2)	授業で学んだことを復習する(0.5時間)
6	席入り　割り稽古　袱紗　茶巾　盆略点前(3)	授業で学んだことを復習する(0.5時間)
7	席入り　盆略点前(1)	授業で学んだことを復習する(0.5時間)
8	席入り　盆略点前(2)	授業で学んだことを復習する(0.5時間)
9	席入り　炉のお点前:柄杓、蓋置、水指の扱い(1)	授業で学んだことを復習する(0.5時間)
10	席入り　炉のお点前:柄杓、蓋置、水指の扱い(2)	授業で学んだことを復習する(0.5時間)
11	席入り　炉のお点前:柄杓、蓋置、水指の扱い(3)	授業で学んだことを復習する(0.5時間)
12	席入り　炉のお点前:柄杓、蓋置、水指の扱い(4)	授業で学んだことを復習する(0.5時間)
13	席入り　炉のお点前:柄杓、蓋置、水指の扱い(5)	授業で学んだことを復習する(0.5時間)
14	席入り　初釜	授業で学んだことを復習する(0.5時間)
15	まとめ、全体の流れを復習　　実技テスト	授業で学んだことを復習する(0.5時間)

評価方法

実技試験にて評価を行う。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験		○	○	○	○	100%

履修上の注意

科目名	社会教養ⅡB				
科目名(英)					
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	未定
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	
対象学科・学年	エアライン科2年				
授業概要	社会人になる前の心構えと、必要なマナーと知識を身に付ける。また、航空業界は多種多様なお客様に接する為、幅広い知識が必要である。出前講座を通し、様々な業種、職種の方から話を伺い、視野を広げることをねらいとする。本授業で学んだことがきっかけとなり、好奇心が芽生え、向学心に繋がることもねらいとする。				
授業形式	講義:　△	演習:　○	実習:	実技:	※　主たる方法:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○		○		社会人として必要なマナーと知識を身に付け、レポートにまとめることが出来る
	○		○		習得した知識を使用しながら、分かりやすく説明できる

テキスト・教材 参考図書：プリント

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	動機付け・後期の目標設定	授業で学んだこと、知り得た知識はノートにまとめる等の復習を行う(0.5時間)
2	出前講座①	授業で学んだこと、知り得た知識はノートにまとめる等の復習を行う(0.5時間)
3	出前講座②	授業で学んだこと、知り得た知識はノートにまとめる等の復習を行う(0.5時間)
4	出前講座③	授業で学んだこと、知り得た知識はノートにまとめる等の復習を行う(0.5時間)
5	出前講座④	授業で学んだこと、知り得た知識はノートにまとめる等の復習を行う(0.5時間)
6	出前講座⑤	授業で学んだこと、知り得た知識はノートにまとめる等の復習を行う(0.5時間)
7	出前講座⑥	授業で学んだこと、知り得た知識はノートにまとめる等の復習を行う(0.5時間)
8	出前講座⑦	授業で学んだこと、知り得た知識はノートにまとめる等の復習を行う(0.5時間)
9	出前講座⑧	授業で学んだこと、知り得た知識はノートにまとめる等の復習を行う(0.5時間)
10	出前講座⑨	授業で学んだこと、知り得た知識はノートにまとめる等の復習を行う(0.5時間)
11	出前講座⑩	授業で学んだこと、知り得た知識はノートにまとめる等の復習を行う(0.5時間)
12	学内講座（担任）	授業で学んだこと、知り得た知識はノートにまとめる等の復習を行う(0.5時間)
13	学内講座（担任）	授業で学んだこと、知り得た知識はノートにまとめる等の復習を行う(0.5時間)
14	レポート作成	授業で学んだこと、知り得た知識はノートにまとめる等の復習を行う(0.5時間)
15	二年間の振り返り	授業で学んだこと、知り得た知識はノートにまとめる等の復習を行う(0.5時間)

評価方法

(1)レポートを提出する。
以上を下記の観点・割合で評価する。
成績評価基準は、S（90点以上）・A（80点以上）・B（70点以上）・C（60点以上）・D（59点以下）とする。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
レポート提出		◎		○		100%

履修上の注意

予定は変更する可能性あり。
出前講座は企業・団体の都合によるため、決定後お知らせする。